

第85回 徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (徳島県新型インフルエンザ等対策本部会議)

日 時：令和4年12月2日（金）
午後4時から

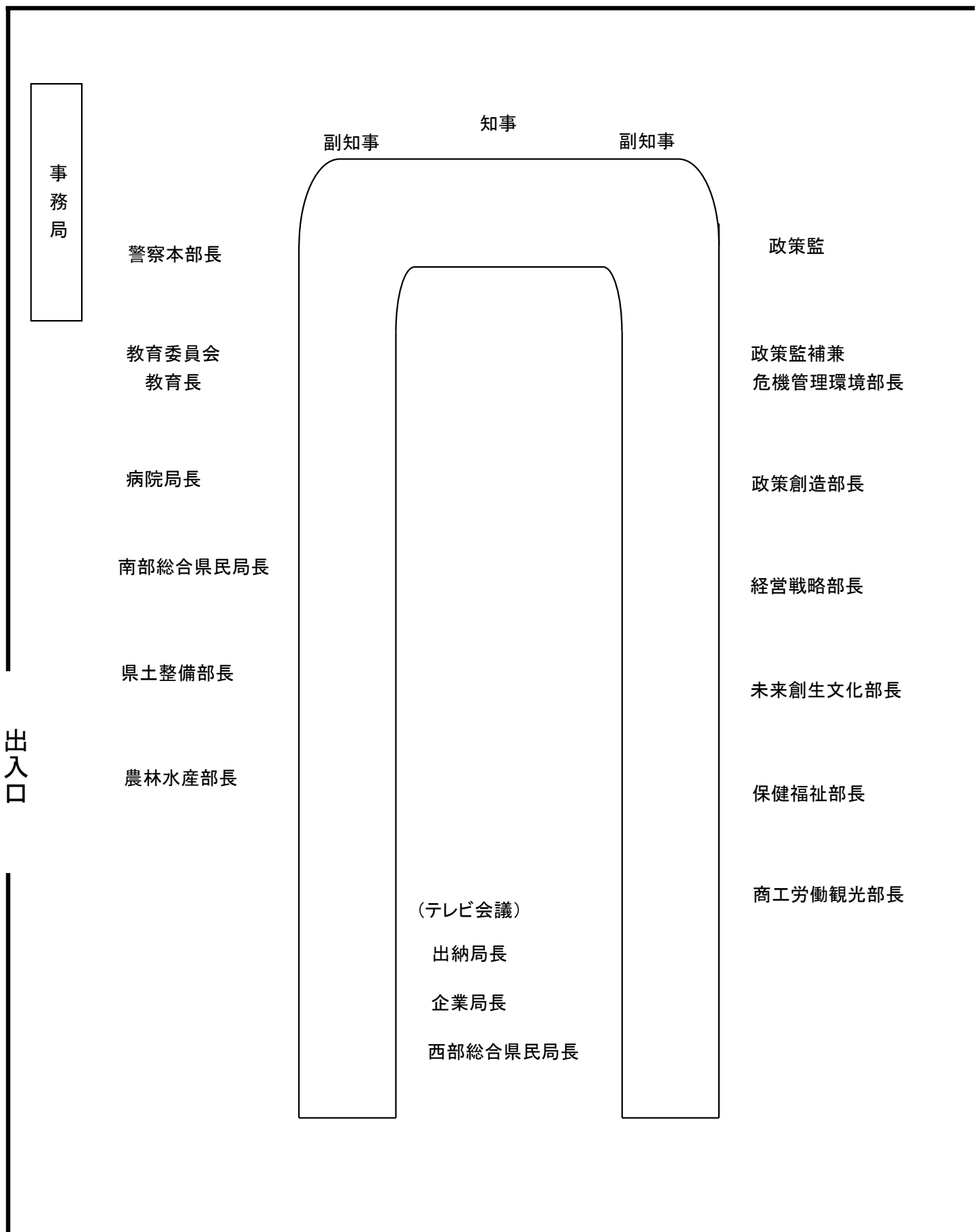
場 所：県庁3階 特別会議室

◎協議事項

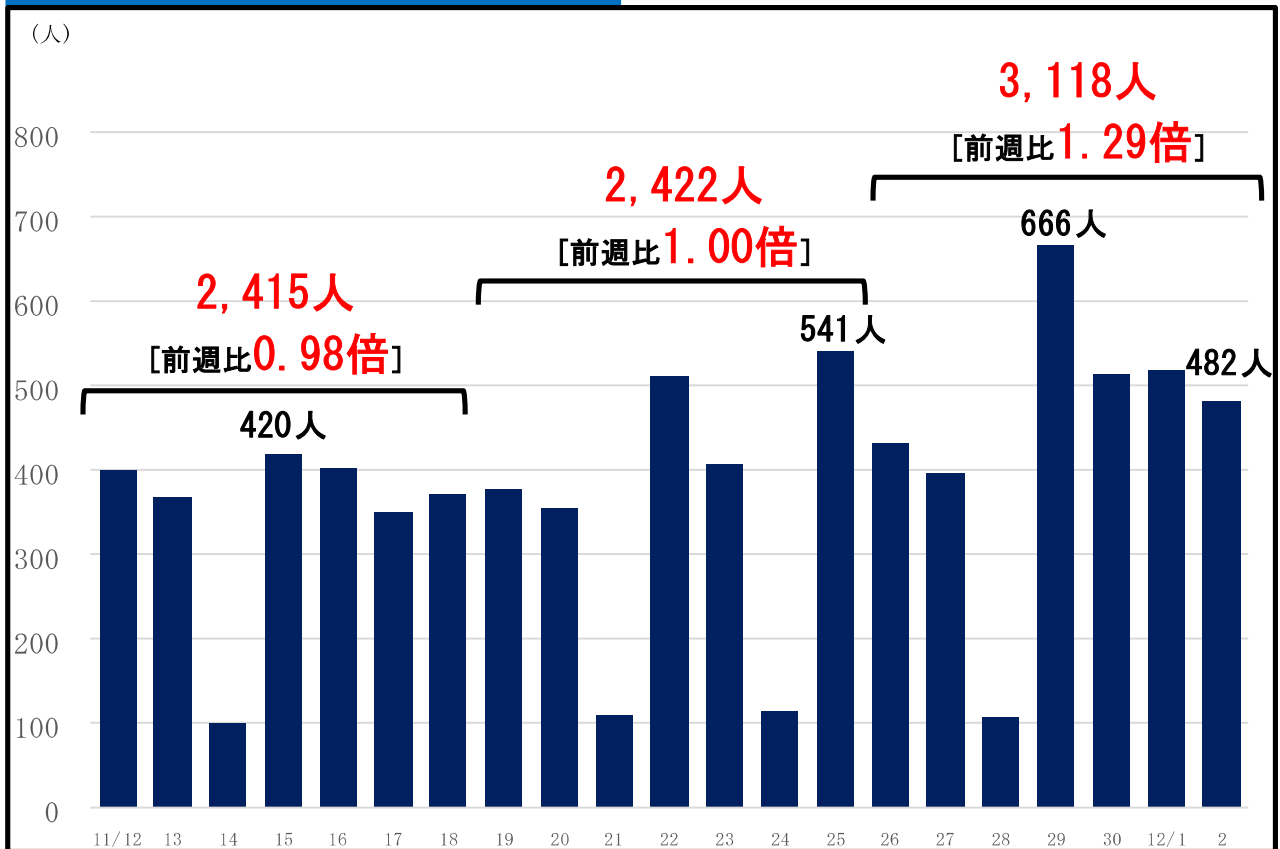
- ・とくしまアラートの改定等について

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 配席図

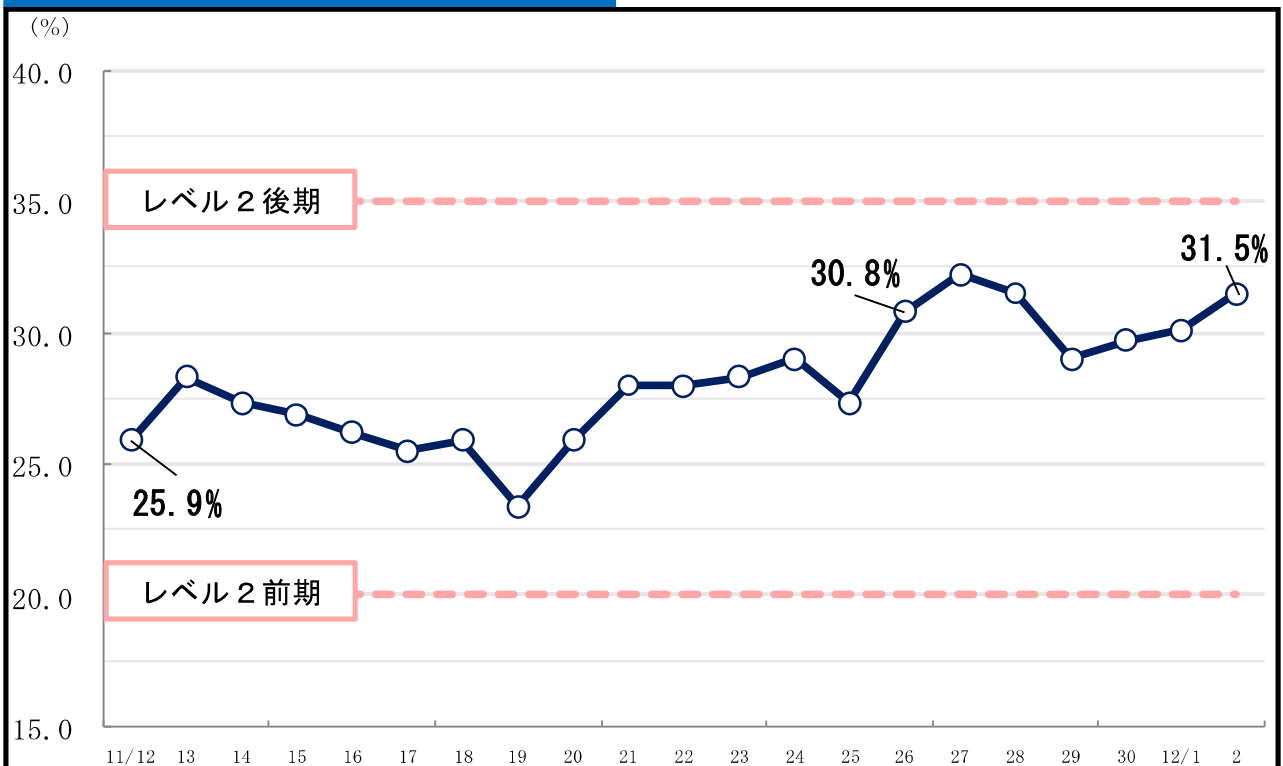
令和4年12月2日(金)



○ 1日の新規陽性者数の推移

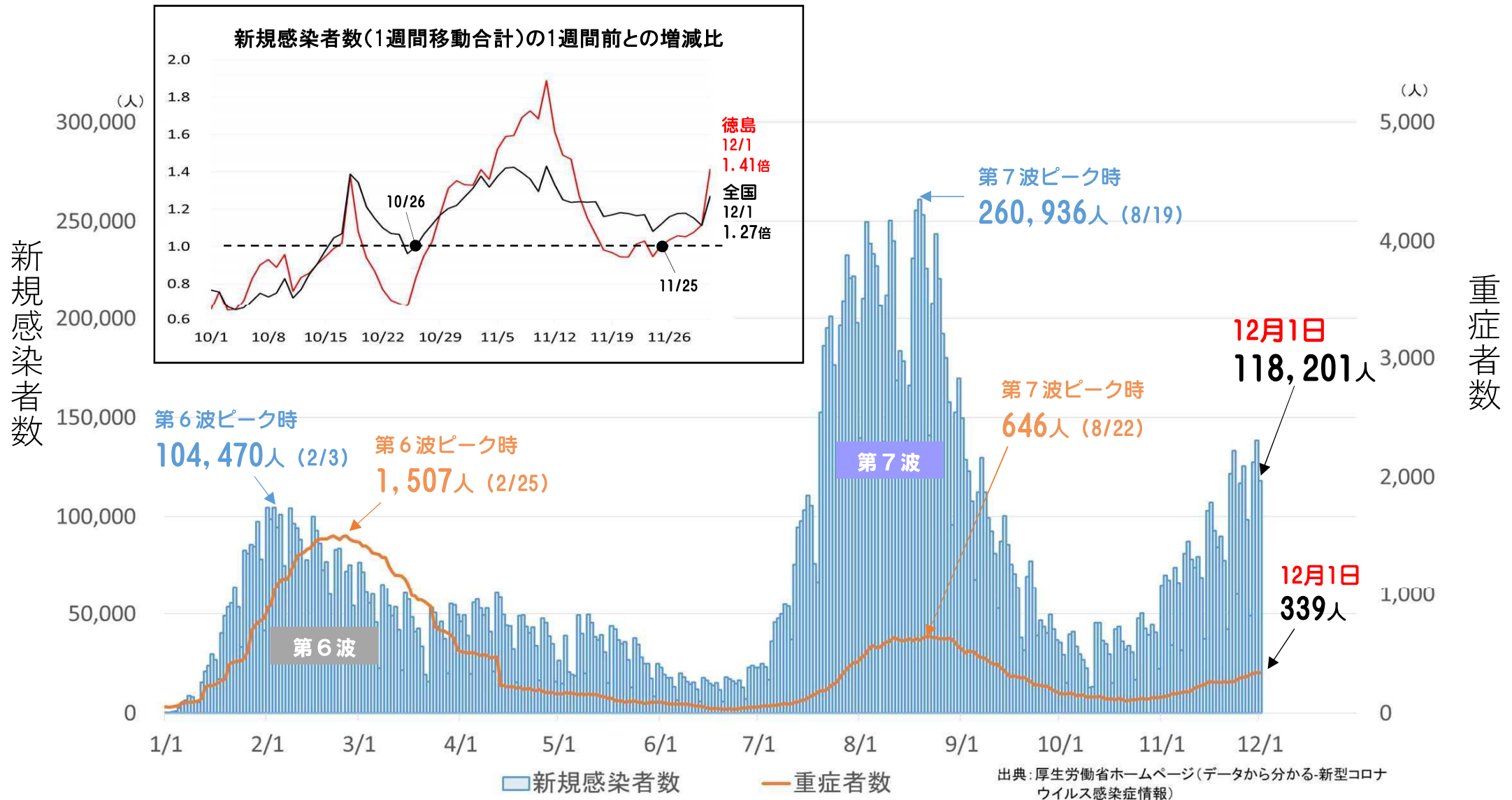


○ 最大確保病床使用率の推移



全国の新規感染者数・重症者数推移

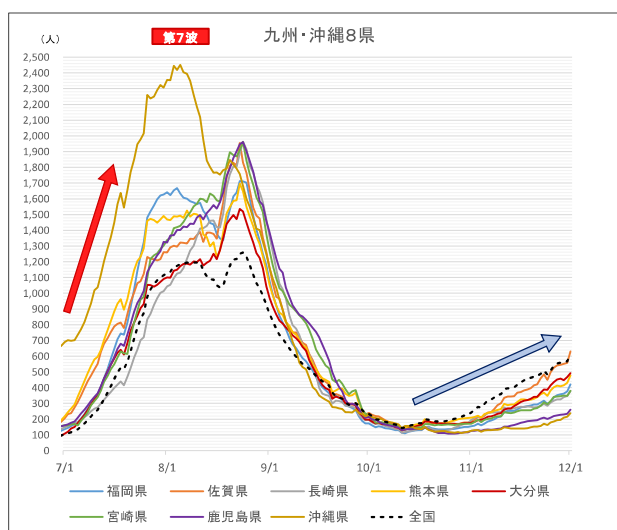
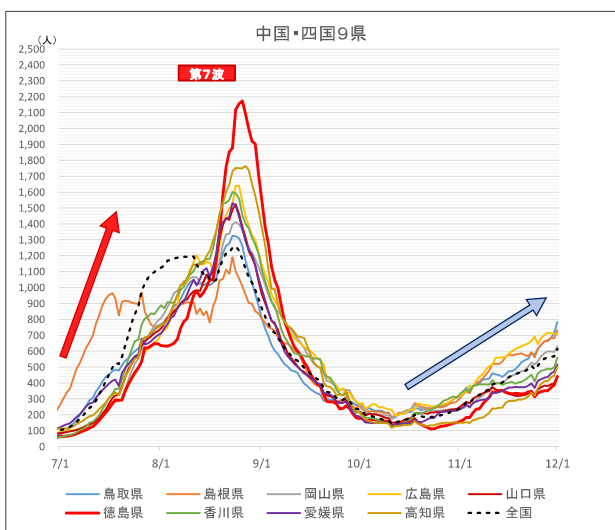
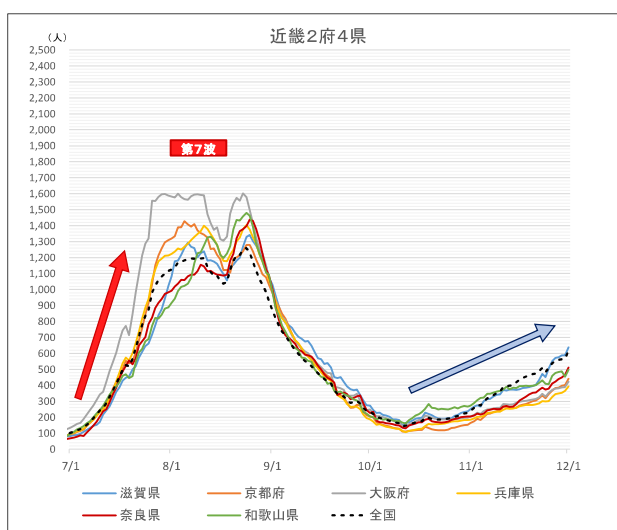
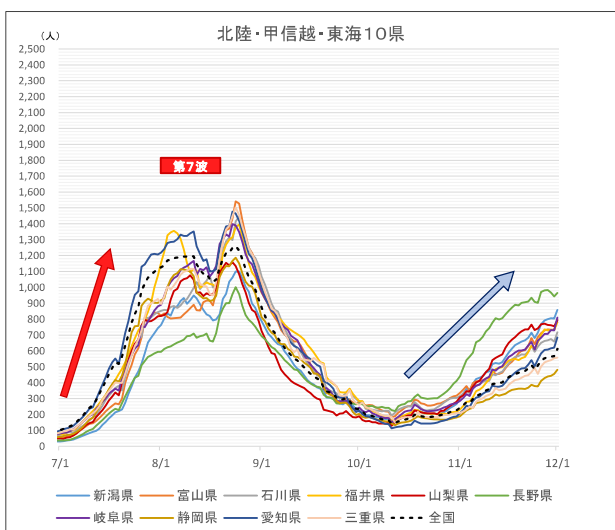
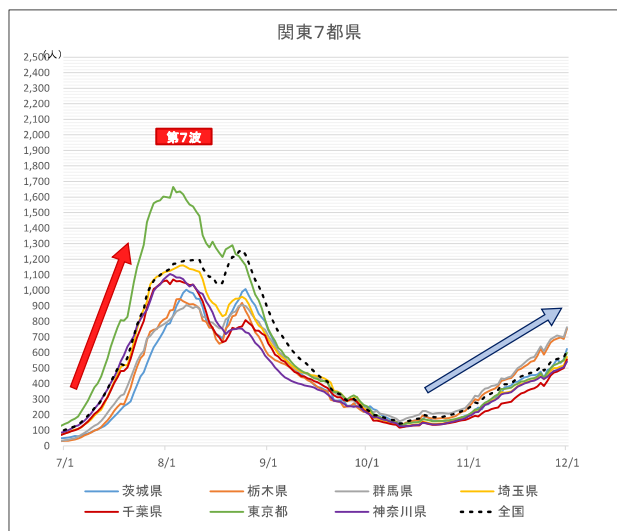
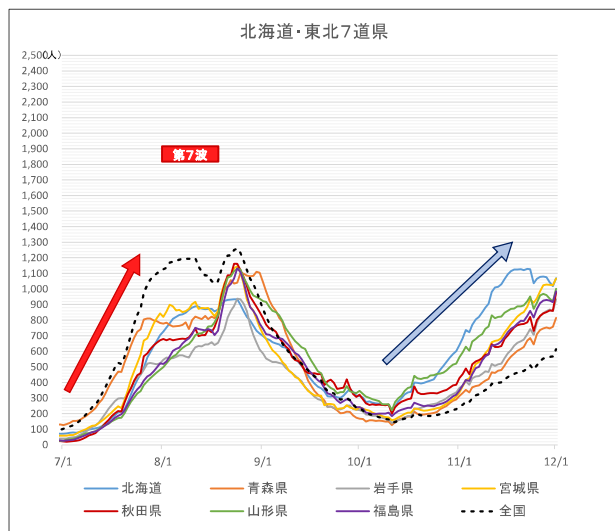
資料 2



全国の新規感染者数は、1週間前との増減比が10月26日以降、**37日連続**で「1」を上回り、**増加傾向**が継続しており、重症者数も**増加**している。

都道府県別感染状況(直近1週間の人口10万人あたりの感染者数推移)

- ・都道府県別の感染者数に地域差は見られるものの、第7波と比較すると、増加速度が緩やかになっている。
- ・北日本をはじめ、全国的に気温の低下がみられ、換気がされにくい場合もあり、感染の増加要因となっている。



出典:厚生労働省ホームページ(データから分かる-新型コロナウイルス感染症情報から)

【政府分科会】「今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合に想定される対応（令和4年11月18日）」で示された「新たなレベル分類」

レベル分類	レベル 1（感染小康期）	レベル 2（感染拡大初期）	レベル 3（医療負荷増大期）	レベル 4（医療機能不全期）
レベル分類移行に関する事象	○感染状況 ・感染者は低位で推移しているか、徐々に増加している状態 ○保健医療の負荷の状況 ・外来医療・入院医療ともに負荷は小さい	○感染状況 ・感染者が急速に増え始める ○保健医療の負荷の状況 ・診療・検査医療機関（いわゆる発熱外来）の患者数が急増し、負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数も増加 ・病床利用率、医療従事者の欠勤者数も上昇傾向 ○社会経済活動の状況 ・職場で欠勤者が増加し始め、業務継続に支障が生じる事業者も出始める	○感染状況 ・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生 ○保健医療の負荷の状況 ・外来医療の負荷が高まり、発熱外来や救急外来に多くの患者が殺到する、重症化リスクの高い方がすぐに受診できないという事象が発生 ・救急搬送困難事例が急増する ・入院患者も増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる ○社会経済活動の状況 ・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者も多数発生	○感染状況 ・今冬の新型コロナウイルス感染者の想定を超える膨大な数の感染者が発生 ○保健医療の負荷の状況 ・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般の外来にも患者が殺到する事象が発生 ・救急車を要請しても対応できず、救急搬送困難事例の件数として把握できない状況が生じている。通常医療も含めた外来医療全体が逼迫し、機能不全の状態 ・重症化率は低くても、膨大な数の感染者により、入院が必要な中等症Ⅱ・重症者の絶対数が著しく増加 ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療が逼迫 ・入院できずに、自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生 ・通常医療を大きく制限せざるを得ない状態 ○社会経済活動の状況 ・欠勤者が膨大な数になり、社会インフラの維持に支障が生じる可能性
レベル分類移行に関する指標	最大確保病床利用率 概ね 0～30%	最大確保病床利用率 概ね 30～50%	【医療逼迫防止対策強化宣言】発出 最大確保病床利用率/重症者用病床利用率 概ね 50%超	【医療非常事態宣言】発出 最大確保病床利用率/重症者用病床利用率 概ね 80%超

【（新）とくしまアラート】政府分科会「新たなレベル分類」を踏まえた改定（案）

レベル分類	レベル1・感染小康期	レベル2・感染拡大初期	レベル3・医療負荷増大期	レベル4・医療機能不全期
レベル分類移行に関する事象 ※（追加）	政府分科会の示す内容と同様			
レベル分類移行に関する指標 ※（改定）	■最大確保病床利用率 概ね 0～30%	■最大確保病床利用率 概ね 30～50%	【医療逼迫防止対策強化宣言】発出 ■最大確保病床利用率/重症者用病床利用率 概ね 50%超	【医療非常事態宣言】発出 ■最大確保病床利用率/重症者用病床利用率 概ね 80%超

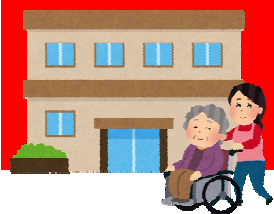
※ レベル分類移行については、専門家会議の意見を踏まえ総合的に判断

各レベルごとの対策については、政府分科会が示す「国の対応」等を参考として実施

【（参考）現行のとくしまアラート】

レベル分類	－	レベル1 感染観察	レベル2・感染警戒		レベル3・特別警戒		レベル4・非常事態
			【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	
レベル分類移行に関する指標※	－	■最大確保病床利用率 10%以上	■最大確保病床利用率 20%以上 ■重症者用病床利用率 15%以上	■最大確保病床利用率 35%以上 ■重症者用病床利用率 30%以上	■最大確保病床利用率 50%以上 ■重症者用病床利用率 45%以上	■最大確保病床利用率 70%以上 ■重症者用病床利用率 60%以上	■一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況

※ レベル分類移行については、専門家会議の意見を踏まえ総合的に判断



高齢者施設等における「戦略的な検査」の実施

資料5

〔期 間〕 11月15日(火)～11月28日(月) (2週間)

〔対象者〕 通所施設(高齢者、障がい者・児)、訪問事業所(高齢者、障がい者)、
高齢者施設、障がい者・児入所施設、
療養病床を有する病院・有床診療所、精神科病院等の希望職員

〔回 数〕 「週3回」の実施(発症間隔が短いオミクロン株対応)



「感染者の増加傾向」や「インフルエンザとの同時流行」に備え、**対策を継続**

人流が増加する「年末年始」を含め「戦略的な検査」を
令和5年1月15日(日)まで延長

「高齢者施設等」における感染防止対策を徹底



児童等利用施設における戦略的な感染防止対策

資料6

○保育所等での「**集中的な検査**」を実施

〔期 間〕 11月15日(火)～11月28日(月) (2週間)

〔対象者〕 保育所、認定こども園、認可外保育施設、放課後児童クラブ、
児童養護施設等の希望職員

〔回 数〕 「週3回」の実施(発症間隔が短いオミクロン株対応)



感染者が増加傾向にあることから、インフルエンザとの同時流行を見据え、**対策を強化**

○年末年始における「**集中的な検査**」を実施

〔期 間〕 令和4年12月12日(月)～令和5年1月15日(日) (5週間)

〔対象者〕 保育所、認定こども園、認可外保育施設、放課後児童クラブ、
児童養護施設等の希望職員

〔回 数〕 「週3回」の実施

○保護者に対し、基本的感染対策の徹底、体調不良時の「登園自粛」を改めて要請

マスクの着用が難しい「児童等利用施設」における感染防止対策を徹底



教職員を対象とした戦略的な検査の実施

資料7

○学校等での「**集中的検査**」を実施

〔期 間〕 11月15日(火)～11月28日(月)(2週間)を目途

〔対象者〕 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の希望教職員

〔回 数〕 検査キットにより「週3回」実施（発症間隔が短いオミクロン株対応）
⇒合計「約16,000回、約2,700人」の検査を実施 ※国立、私立を含む



「年末年始の人流増加」や「感染者数の高止まり」を踏まえ、
第8波対策「**集中的検査・第2弾**」を実施

〔期 間〕 令和4年12月12日(月)～令和5年1月15日(日)

※冬休み開始後一旦休止、始業一週間前から再開

〔対象者〕 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の希望教職員

〔回 数〕 検査キットにより「週3回」実施

※入試時期（2月頃）にも同様の「集中的検査」を実施

学校等へのウイルス持込みを防止し、安定的な教育活動を推進

「冬休み」新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

～インフルエンザとの同時流行に備えましょう～

□ 毎日の検温や健康観察はできていますか？

せき、のどの痛みやイガイガ、息苦しさ、倦怠感（けんたいかん体のだるさ）などの症状があるときは、外出を控えましょう。

□ 場面に応じたマスクの着用ができていますか？

会話をするときや多くの人がいるところでは、マスクを着用しましょう。

○マスク着用の必要がない場面

【屋外】人との距離がとれる場合

人との距離がとれなくても、会話をほとんど行わない場合

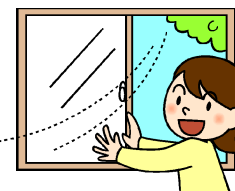
【屋内】人との距離がとれ、会話をほとんど行わない場合

□ 手洗い・手指消毒やうがいができていますか？

この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が予想されています。冬場の感染症対策として、手洗い・手指消毒やうがいをしっかりしましょう。

□ 換気はしっかりできていますか？

気温が低い日が続きますが、屋内では、空調をかけながら、こまめに換気をしましょう。



□ 部活動での感染防止対策はできていますか？

「運動部活動における感染拡大防止対策チェックリスト」を活用して、引き続き、部活動での感染防止対策を徹底しましょう。

□ 寮や下宿での感染防止対策はできていますか？

「寮生・下宿生の新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」を活用して、引き続き、共同生活での感染防止対策を徹底しましょう。

年末年始も、感染防止対策をしっかりと！

保護者のみなさまへ

学校やご家庭における感染防止対策にご協力いただきありがとうございます。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。



徳島県教育委員会





人の動きが活発になる

資料 9

年末年始に向けた無料検査制度の延長

年末(12月31日)まで実施中の検査事業について、実施期間を延長！

事業名

実施期間

ホームページ
(申込はこちら)

薬局等での一般検査事業

対象 感染不安を感じる無症状の徳島県内在住の方

令和5年 **1月15日** まで



帰省者等向け事前PCR検査の受検支援事業

対象 徳島県に帰省予定の県外に居住されている方
徳島県に帰県予定の県外に帰省されている大学生等の方

○お住まいの都道府県で実施している一般検査事業の受検もご検討ください

令和5年 **1月31日** まで
※21日までに申し込みが必要



飲食店・宿泊施設従業員向け抗原検査事業 (コロナ対策三ツ星店)

対象 県内の飲食店・宿泊施設で検査事業にご協力いただける店舗

令和5年 **1月31日** まで
※23日までに申し込みが必要



協力店舗にはステッカーを
配布しています



人の動きや交流が活発になる年末年始の感染拡大を防止するため、
無料検査の実施期間の延長により受検機会を確保！

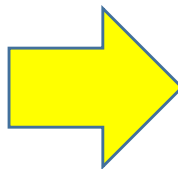
Web上でのターゲティング広告を活用した 感染防止対策の周知について

年末年始を中心とする期間において、スマートフォンでインターネットを利用する若年層を中心に、基本的な感染防止対策の徹底及び本県が実施する各施策の情報をタイムリーかつ効果的に周知するため、Web上での「ターゲティング広告」を実施する。

- 1 期間 令和4年12月中旬頃から予定（1月中旬頃まで）
- 2 媒体 「SmartNews」（アプリ）
「Yahoo! JAPAN」及び「Google」トップページ
- 3 対象 ○徳島県内のユーザー
○徳島県外のユーザーで徳島県に関心のある方
（過去に来県したことがある方や、徳島県に関連することを検索した方等）
- 4 内容 ○基本的な感染防止対策（効果的な換気の実施等）のお願い
○専用で作成したランディングページを経由し、ユーザーが知りたい
徳島県HPの感染防止対策ページにアクセス
①帰省前等に居住地で受けられるPCR検査事業
②無症状の方が薬局等で受けられる一般検査
③ワクチン接種を検討される方へのご案内
④県内での飲食・宿泊時の「コロナ対策三ツ星店」の積極的な利用
⑤発熱等の症状がある方の「相談・受診」の方法 等



画面イメージ



ランディングページ（イメージ）
から県HPにアクセス

新型コロナワクチン接種状況（令和4年11月30日時点）

資料11

○オミクロン株対応ワクチン

- ・前回接種から3か月経過した12歳以上の追加接種に使用。
- ・接種対象者「487,240人」のうち、「**118,473人**」が接種。
- ・全人口に対する接種率は、「**16.3%**」となっている。（全国19.2%）

[参考]

- ・全人口に対する4回目接種率は、「**40.7%**」（全国38.8%）
- ・全人口に対する3回目接種率は、「**68.2%**」（全国67.0%）

[参考] 世代別の接種率

※VRS入力済みの数値（医療従事者含む）

		全人口	6か月～4歳 (乳幼児)	5～11歳 (小児)	12～29歳	30代・40代	50～64歳	65歳以上
オミクロン株対応 ワクチン接種率		16.3%			8.6%	14.1%	23.0%	21.6%
初 回 接 種	2回目接種率 ※1	80.4%	0.9%	17.3%	78.6%	81.6%	89.6%	93.1%
追 加 接 種	3回目接種率	68.2%		5.1%	49.5%	61.4%	78.8%	89.6%
	4回目接種率	40.7%			9.6%	20.7%	43.0%	76.9%
	5回目接種率 ※2	6.1%			0.1%	0.5%	2.1%	16.4%

※1 乳幼児の接種率については、接種開始からまもなく初回接種を完了している人がいないため、1回目の接種率を記載している。

※2 5回目接種は、従来型ワクチンで4回目接種を実施していた方（60歳以上、基礎疾患を有する者、医療従事者等）へのオミクロン株対応ワクチンによる接種。